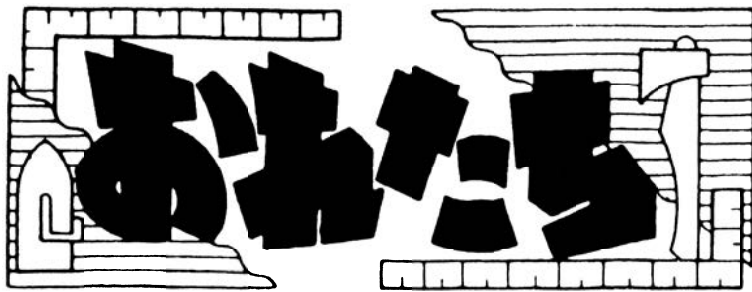


無料法律相談日の案内

10月16日(金)14時～16時

希望者は前日までに予約を

9月初組員数=1,754人(-10人)



発行所

東京土建一般労働組合荒川支部

東京都荒川区荒川6-3-1

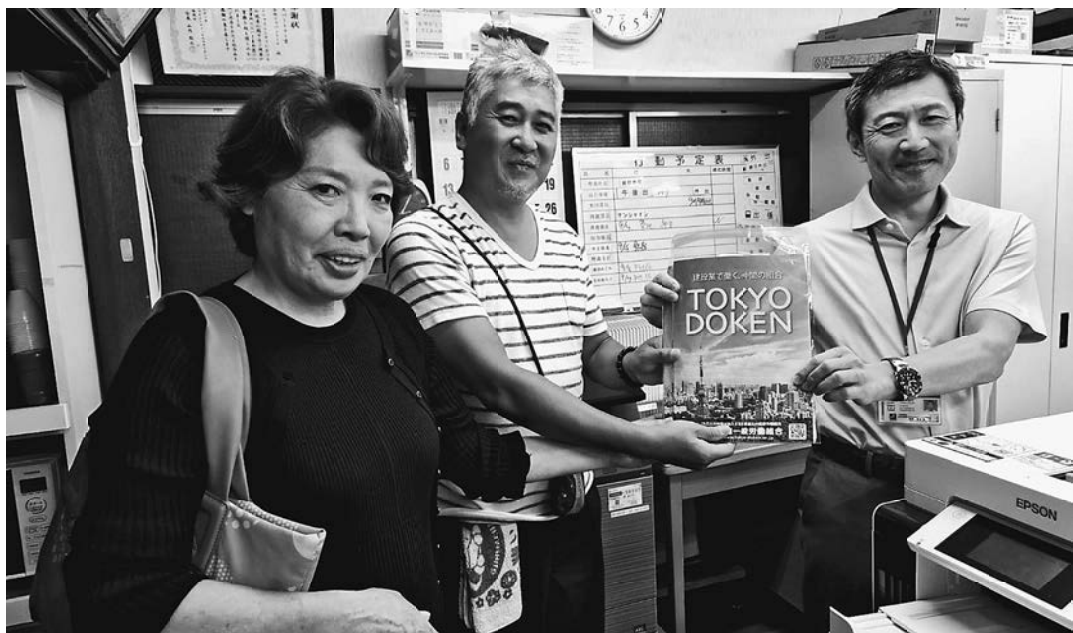
TEL(3892)9131 FAX(3892)9381

発行者・編集長・小熊賢一

<https://www.doken-arakawa.org/>

仲間を増やして要求実現へ！！

秋の月間では64人の仲間を増やし1月現勢回復を目指します



事業所訪問で早速対象者情報GET！

仲間と訪問・対話し 仕事とくらしを良くしよう

【組織部発】円安やイラン戦争による物価高、資材価格高騰のもとで、仲間の仕事とくらしは厳しさを増しています。こうした状況を打開するためには、要求を語り合い活動する仲間を増やしていかなければなりません。私た

ちの仕事とくらしを良くするために、団結し共に頑張りましょう。
8月25日から10月30日まで、各分会で夜間センターを設けて組合員さんのお宅を訪問したり電話をかけたりしています。ご協力お願いいたします。

【八木橋郁子組織部長】

ります。

厳しい暑さが続く中、日々お仕事や組合活動に尽力いただき、本当にありがとうございます。

建設産業では、物価、資材高騰など仕事や資金への不安など依然として厳しい状況が続いております。仲間の要求を聞きとり、

その要求を実現するために東京土建が果たしている役割を伝える月間でもあります。

これまでの月間でつかんだ経験を生かし、1人ひとりのつながりを大切にした活動を進めてまいります。

訪問、宣伝行動では、仲間の仕事と暮らしの実情を聞き取り、資材価格や単価の問題、第3次・担い手3法などの制度を周知しながら組合員、事業所訪問、現場宣伝、ホームセンター宣伝を実施してまいります。
新加入者向けに加入金無料、秋は区民まつりやレクリエーション参加から活動参加につなげる企画も計画しています。

組合員を増やすことは、単に人数を増やすことではなく、仲間が増えれば、1人では解決できない問題にも声を上げる力が生まれ、建設産業をより良くしていく大きな力になります。

この思いを共有し、組合員みなで力を合わせ64名拡大し秋の月間を成功させましょう。ご協力よろしくお願いたします。

秋の月間 スローガン

支部 対話から広げる仲間の輪、組織を活性化しよう！

西尾久分会 参加は少ない人数だけど秋も達成だ！

東尾久1分会 仲間を増やそう 未来を広げよう 分会の輪

東尾久2分会 東尾久2分会は今日も全力！明日も全力！全力すぎて滅！！

荒川分会 力を合わせてがんばろう

町屋北分会 Evolutionを止めるな！広げよう仲間の輪！！

町屋南分会 みんななかよくガンバロー

日暮里1分会 必ず達成！現勢回復！

日暮里2分会 結集の力で現勢回復！目標達成へ

南千住分会 対話をすすめ新しい風を吹かせよう！

レティース荒川 あら可愛い（荒川いい） まあるく つながる 笑顔の輪

青年部 仲間を増やし、未来をつくる。青年部、拡大へ。

荒友会 年をとっても、心は若い。まだまだガンバルぞ！

秋の月間 行動日程

第3次行動日	9月18日(金)
第4次行動日	9月25日(金)
第5次行動日	10月2日(金)
第6次行動日	10月9日(金)
第7次行動日	10月15日(木)
第8次行動日	10月22日(木)
第9次行動日	10月28日(水)
	29日(木)



内緒の山部屋22

荒川がもたらした恵「荒木田土」資料

整理／国土交通省関東地方整備局荒川上流河川事務所

先日、組合の集まりで美輪明宏さん(享年91)の話

題になり、ヨイトマケの唄の背景の話から、大相撲の土俵築(どひょうつき)に

まで話が拡がりました。確かに、ヨイトマケの唄も土

俵づくりも、土木工事ですよね▼その土俵築で使われ

る土は荒木田土(あらぎだつち)と呼ばれ、粘土質で

粘り気あり、叩けば叩くほど固く締まる性質や、適度

に砂が混じって滑りにくい性質などがあるとのこと。

あんな大きなお相撲さんたちが毎日何番も相撲を取る

んだもん、土俵が崩れて怪我をしたりしたら大変です

▼その荒木田土は昔、荒川区内の荒木田原などで採れ

ていたそうです。そういう

ば区内には「荒木田」という

交差点は今でもあるし、「真土」とか「赤土」とか

土にまつわる地名も残っていますね。でも「赤土」っ

ていうと、あらかわ遊園の地にあった煉瓦工場を連想

します▼今、旧真土小学校の辺りが再開発工事になっ

ていますが、きっとあのあたりでも良い土が掘り返さ

れているんだろうなあ。

(東尾久1 藤川直樹)

9条改憲は必要か 夏の大学学習会を開催

【東尾久1・藤川直樹通信員】荒川支部が8月30日、サンパール荒川で夏の大学学習会を開催し、猿田佐世氏（新外交イニシアティブ代表・弁護士）を講師に招きました。参加者から質問が飛び交い、盛り上がりました。参加63人。

日本では「中国が怖い」という人が大多数ですが、猿田氏によると、海外ではそうではないとのこと。東南アジアの（外交）専門家に「米中対立の中で東南アジアはどうしたら良いのだろうか」とアンケートすると、「私たちは中立です」という答えが圧倒的に多かったそうです。



講師をしてくれた猿田さん

多い。何年調査しても、ほぼ同じ結果になるそうです。で、「米中どちらかを選ばなければならぬ」としたら「と問うと、52%が中国を選んだそうです。猿田氏はこの2月、マレーシアとインドネシアへ安全保障政策の調査に行きました。現地で「中国は脅威ですか？」と尋ねても、誰ひとりとして「中国が脅威」だと言ってくれないそうです。「何なら、ガザやイランであんなことするアメリカのスターバックスだってマクドナルドだってボイコット運動がすごくなっているよ」と返ってきたそうです。「お洒落なドラマも中国から来るし、行きたい大学は中国。トランプ政権で外国人大学生を追い出している時に、中国はウェルカムでお金も出してくれる」と、中国に対するネガティブイメージを全く持っていない。

ベトナム外交は全方位外交で、国連加盟国の全ての国と仲が良い。①軍事同盟に参加しない②二国間関係に第三国の介入を求めない③他国の基地を置かせない④国際関係における武力行使、武力による威嚇をしない——という外交をしている。極めて（隣国の）中国の影響を受けている国だからこそ、全方位外交で国の安全を守っている。ベトナムの歴史がそうさせているそうです。

しかし、そういう見事な外交をしている国はベトナムだけじゃなくて、東南アジアの国はみんなそう。フランスよく中国ともアメリカとも周りの国とも仲良くしているそうです。「米中どちらに好意？」

という最新の世論調査（ピュー研究所2026）を世界36カ国で行ったところ、6カ国だけが「米国が良い」と答え、5カ国が「中立」で、残り25カ国が「中国が良い」という結果が出たそうです。カナダもフランスもスウェーデンもドイツも「中国のほうがいい」と答えました。アメリカに一番好意を持っているのはイスラエルで、二番目が日本でした。講演の内容は、日本の安全保障政策の話から台湾有事で想定される被害の話まで多岐に渡りました。外交の重要性、軍事力より外交に力を注ぐことの方が重要であることが分かりました。

犠牲の上に成り立つ平和 平和祈念展示資料館へ

【東尾久1・小熊賢一通信員】8月16日、雨の降る日曜日に、私は、新宿住友ビル33階にある「帰還者たちの記憶ミュージアム」へ行ってきました。ここは、先の大戦が終わった後のこと、ソ連の強制抑留や満洲からの引揚げの人たちについて知ることができる施設です。施設に入ると、はじめに兵士のコーナーになります。兵士の服装や召集令状（赤紙）、軍隊の生活がわかる資料が展示されています。つぎは、戦後強制抑留コーナーになります。ソ連軍に、帰国と言われ、

く、亡くなった戦友の服を脱がせて、やむを得ずそれを着たり、埋葬しようとしても、地面が凍って穴も掘ることが出来ず、雪を被せて安置するしかないことなど、悲しい現実を知らされ

ます。こうして約5万5千人が亡くなった。シベリア抑留者の帰国は、昭和21年31年まで続いた。戦争が終わっているのに、最長で11年間も抑留された人たちがいたなど、さぞかし辛く悲しかっただろうと胸が痛みました。海外からの引揚げコーナーでは、満洲から命からがら必死で日本に戻った様子がわかります。満洲で暮らしていた日本人

は、約155万人いたそうです。農業などの開拓団の家族や少年を集めた青年義勇隊などが多かったようです。以前、満蒙開拓で、被害にあった人たちのことを書きましたが、ここでも、帰国するまで様々な苦難を乗り越えて日本に帰ってきた様子がよくわかるようになっていました。

私は、この夏、原水禁広島大会に参加し、霞ヶ浦の予科練平和記念館を訪ね、このミュージアムを訪れました。

日本では暮らし私たちの平和な生活は、多くの犠牲の上に成り立っているような気がしてならないのです。まだ生きられる人生をどのような思いで終わらせなくてはならなかったのか、それは、悲しいや切なさや悔しさ、苦しみよりも、もっと、もっと、私たちに、理解も出来ないくらい、恐ろしいほどの深い感情がきつとあって、人生を諦めたのでしょうか。

どのような形であって、二度と戦争はしない、戦争で命を落とした人たちのために、平和な世界を作っていくことが、いまを生きる人間の宿命ではないのだろうか。そう思わずにはいられない。

ものづくり 匠の技の祭典

【東尾久2・八木橋郁子通信員】7月31日、8月2日に東京国際フォーラムで開催されました。世界に誇る日本のさまざまな「匠の技」を見て、聞いて、体験してきました。日本を支えてきた伝統的な匠の技と最先端のものづくり技術が集結！衣・食・住・工のさまざまな分野の優れた技を直接見て触れることができます。



【東尾久1・小野賢一通信員】8月16日、雨の降る日曜日に、私は、新宿住友ビル33階にある「帰還者たちの記憶ミュージアム」へ行ってきました。ここは、先の大戦が終わった後のこと、ソ連の強制抑留や満洲からの引揚げの人たちについて知ることができる施設です。施設に入ると、はじめに兵士のコーナーになります。兵士の服装や召集令状（赤紙）、軍隊の生活がわかる資料が展示されています。つぎは、戦後強制抑留コーナーになります。ソ連軍に、帰国と言われ、

く、亡くなった戦友の服を脱がせて、やむを得ずそれを着たり、埋葬しようとしても、地面が凍って穴も掘ることが出来ず、雪を被せて安置するしかないことなど、悲しい現実を知らされ



学習してきました

私は、この夏、原水禁広島大会に参加し、霞ヶ浦の予科練平和記念館を訪ね、このミュージアムを訪れました。

日本では暮らし私たちの平和な生活は、多くの犠牲の上に成り立っているような気がしてならないのです。まだ生きられる人生をどのような思いで終わらせなくてはならなかったのか、それは、悲しいや切なさや悔しさ、苦しみよりも、もっと、もっと、私たちに、理解も出来ないくらい、恐ろしいほどの深い感情がきつとあって、人生を諦めたのでしょうか。

どのような形であって、二度と戦争はしない、戦争で命を落とした人たちのために、平和な世界を作っていくことが、いまを生きる人間の宿命ではないのだろうか。そう思わずにはいられない。

一緒にゴルフしませんか？

【日暮里1・松本諭通信員】荒川支部でゴルフを趣味とする組合員が有志が集まって不定期でゴルフコンペを開催しています。

7月30日に第2回を開催し、参加者は10名でした。前回よりも参加者が増え3組で回りました。ゴルフの後には打上げで



参加者で記念撮影

知らせをいたします。次回の第3回東京土建荒川支部ゴルフコンペは10月7日予定になります。とてもアットホームで楽しい会です。興味ある方は奮って参加してみてください。

パンドラの箱

【東尾久1・小熊賢一通信員】6日の朝、原爆が落とされた8時15分に黙祷を捧げた。亡くなった14万人たちに安らかにと願って。

爆心地からほど近くの平和記念公園が式典の会場となる。81年前のこの場所は、原子爆弾によって、瓦礫の街となった。爆風と熱線で焼け尽くされた人を含む全てのものを焼いた。

その惨状は、広島平和記念資料館へ行けば確認することができる。4日の開会式の後に、比較的空いている資料館を見学できた。数年前に改装された館内の展示物は、子どもたちにも、原爆の酷さを感じ取れる展示に改装したそうです。その惨状は、見るに耐え難い写真や絵もたくさんあり、被爆者の写真や本人の持ち物、洋服なども文章と一緒に展示されています。見ていると辛いが、原爆の恐ろしさを知るためには、今を生きる日本人として知っていただかなければいけないことのように思った。

2日目の分科会で、被爆者の話を聞いた。その中に、資料館の写真をはじめ残っている多くは、爆弾が落とされて、ほとんどが1週間以上先のものですと教えてくれた。落とされた直後の惨状を残すことは、難しかったとのことでした。本当は、そんなものではなく、水を求めて彷徨う人、

被爆81周年 平和とは

原水禁世界大会広島に参加



記憶し、語り継ぐ

平和を求める声を

【東尾久2・八木橋郁子】今回で2回目の広島となりました。4年前は広島駅の周辺は再開発の途中でしたが現在では駅周辺の再開発も終わり、高層ビルや商業施設が立ち並び、路面電車が走る活気ある都市へと復興していました。

81年前には1発の原子爆弾により一瞬にして街は破壊され、尊い命を奪い、家族、未来までも奪い、生き延びた人は後遺症、差別に苦しみ、身体の痛み、心の痛み、生きていても地獄のような生涯を送っていたことを現在の広島からは想像することは容易ではありませんでした。

しかし原爆ドームや平和記念公園、原爆資料館には原爆で犠牲になられた方の悲痛な叫びがあります。平和記念公園の中には像がいっつもあります。その中には、「折り鶴」を掲げた「原爆の子の像」があります。原爆の像の建立のきっかけとなったのは佐々木貞子（ささきさだこ）さんという少女です。彼女は2歳の時に被爆し、元気に育っておりましたが10年後、小学校6年生で白血病を発症し、治ることを祈りながら病床で折り鶴

を折り続けながら亡くなりました。貞子さんの死にショックを受けた同級生たちは、「貞子さんをはじめ原爆で亡くなった子どもたちのために慰霊碑を建立しよう」と全国へ募金呼びかけ貞子さんが亡くなってから3年後に像が設置されました。原爆の子の像には原爆で亡くなった子どもたちの霊を慰めるとともに、二度と子どもたちを戦争や核兵器の犠牲にしないという平和への誓いと核兵器廃絶と恒久平和への願いが込められています。

佐々木貞子さんの折り鶴がきっかけで世界で折り鶴は平和のシンボルになりました。今でも世界各国から年間1000万羽の折り鶴が届き続けているそうです。

世界各地で戦争が繰り返されています。広島と同じようなことが繰り返されています。

過ちを繰り返さないために、私たちは学習し、記憶し、語り継ぐこと、平和を求める声を上げていきたいと思いました。



原爆ドームにて

読まれる紙面を目指し 機関紙コンクールで入選



教育宣伝部のみんなで受賞をよろこぶ

【教育宣伝部・小熊賢二】全建総連第27回機関紙コンクールA部門（4頁以上の号）で、荒川支部の

「おれたち」が入賞をいただきました。久しぶりの受賞に部員みんなで大喜びしました。機関紙「おれたち」は、部会で企画を立て、ページ毎に、原稿を部員と組合員の皆さんに依頼して毎月発行しています。編集や割付作業は、担当

の書記が大変な苦勞をして仕上げてくれています。以前は原稿も集まらず、2ページで発行することもありましたが、昨年度から必ず4ページで発行していこうと部員と担当書記一同みんなで奮起して、継続して4ページで発行しています。

ありがたいのは、原稿を組合員さんに依頼すると、皆さん気持ちよく引き受けてくれます。ほんとうにありがたいことです。これからも、読まれる紙面を目指して、さらに上位の受賞がもらえるように部員一同がんばって取り組んでいきます。

今月の
1枚



「海を見つめて」

東尾久2分会

吉田敬子さん

7月29日、友人とバスツアーに参加し、遊覧船に乗り、清水港内を巡る40分間のクルーズ。360度のパノラマデッキで潮風を浴びて海上から富士山や三保の松原を眺めました。11月～3月頃は、かもめと一緒に遊べるそうです。その頃行ってみたいと思いました。清々しくてとても気持ちが良かったです。

青年部活動再開を目指し

【青年部発】8月22日、焼肉山河町屋店にて青年部懇親会を開催しました。青年世代と分会をつなぐため、後継者世代も参加し、世代を越えた交流の場となりました。当日参加できなかった方もいましたが、全体で11人、青年世代は4人が参加し、そのうち2人が初参加でした。会は大いに盛り上がり、後継者対策部員の吉田さんの先導で2次会へ移動。2次会では夜更けまで親睦を深め、青年部役員の大谷さんの挨拶で閉会しました。

今後とも定期的に開催し、青年部活動再開を目指します。今回の交流を通じて、次回以降の企画づくりにも弾みがつきました。参加者同士の距離も縮まり、今後の活動への期待も高まりました。



みんなで楽しみました

旅行日誌

ハワイ・オアフ島

2日目



ベージュ色の砂浜と海を堪能

【荒川・五箇谷日出雄】

6月8日ハワイ2日目、窓からの日差しでおきてベランダにでたら、海岸に虹が掛かってました。

午前中は弟と2人、朝食は朝日のおたるペランダの会場で、ハワイのコーヒートと名物ロコモコを食べ、散歩へ出かけました。ホテルを出て道路を渡った、米軍保養地にある陸軍記念資料館の脇の道を行くと、海岸にでました。砂浜はベージュ色の砂で、紺碧の海と空が綺麗で

ハワイに来たな～と思いました。

午後はハイバスでダイヤモンドヘッド1周をしに、ロイヤルハワイアン通りにあるバス停から乗り、4車線あるカラカウア道り沿いのワイキキビーチ白い砂浜とエメラルドグリーンのが広がってハワイにいらることを実感しながら景色を堪能し、カピオラニ公園の脇を通りダイヤモンドヘッド通りを走り、232メートルの山頂からはワイキキビーチやホノルルの街並み、広

私のすもう体験記

第七回



【日暮里1・堀井龍二通信員】名古屋場所も終わり東京に戻るのですが、東京場所は、前回紹介したので九州場所まで話を進めます。（ちなみに東京場所では3勝4敗の負け越しだったと記憶しています。）

九州場所のため新幹線で博多駅へ行き、タクシ

足を八の字に開いて腰を落とし「仕切り」のような姿勢で左右に雑巾で拭く、何と言うか新しい修行の様な雑巾がけでした。本場所初日の前日、呼び出し達が特殊な詩を歌い太鼓を叩いて稽古場に来ます。

その後初日の取組相手が書かれた紙を受け取ります。自分の対戦相手は、久保だと記憶しています。部屋等は覚えてはいないが足腰のいい力士で、引こうものならもっていかれる。そう思いつつも、悪いくせが出てしまい立ち合いで相手の右腕をたぐり、呼び込む形になりもっていかれました。

この場所も負け越しでした。2勝5敗で負けたのか3勝4敗で負けたのかは記憶が曖昧です。

大な太平洋のパノラマビューを楽しみました。

ダイヤモンドヘッドを一周してアラワイ運河沿いを通り、ロイヤルハワイアンセンターに戻り、昼食に中華をたべホテルに戻りまし

た。午後4時に女性陣5人と合流して、サンセットクルーズへ、船名スター・オブ・ハワイでのハワイアン・ショウを観劇しながらのディナーを満喫しました。（つづく）